

運転中や路上での 熱中症に注意！！

今年の「7月～9月」の平均気温は、
平年よりも高くなる見込みです！

運転中や路上での熱中症の発症は
重大な交通事故を引き起こす危険性があります。



～運転中や歩行中の主な救急搬送事例（平成29年）～

- エンジンを停止させた車内で気分不良となった。
- 歩行中、ふらつき感と頭痛が起きた。
- 自転車を運転中、気分不良となり、嘔吐した。
- 車を運転中、手足のしびれが起きた。



～車や自転車運転中における熱中症予防対策～

- 気温が高く、日差しが強い時間帯は、いつも以上にこまめに水分を取
りましょう。
- 長時間の運転は避け、こまめに休憩をとりましょう。
- 車内でも熱中症発症の可能性があるので、エアコンを使い、車内温度
に注意しましょう。
- 体調が悪い場合は無理をせずに、運転を控えましょう。



～熱中症の応急処置～

- 涼しい場所（日陰で、風通しのよい場所）へ避難させる。
- 楽な姿勢をとる。
衣類をゆるめ、血の気がなければ、足を高くして寝かせる。
（皮膚を水で湿らせる、うちわで扇ぐなど）
- 水分・塩分を補給する（意識障害、吐き気を訴える、吐くと
いった場合を除く。）。
- 医療機関へ運ぶ。
自力で水分の摂取ができない場合は医療機関に搬送し、
回復しない、迷った場合は救急車を呼ぶ。



はとこちゃん

つくろうよ 事故なし 笑顔の鳥取県



鳥取県警察